

森美術館「アナザーエナジー展:挑戦しつづける力―世界の女性アーティスト16人」関連プログラム
「Meet the Artists」

山本高之「イクトゥス」

8月15日(日)15:00 よりパフォーマンス収録 YouTubeライブにて公開!



魚たちの世界の「性」の多様なあり方を学んだ アーティストの山本高之が 子どもたちと共に表現する 不思議な魚の世界のミュージカル

アーティスト:山本高之

出演:子どもたち

音楽:額田大志、あっこゴリラ、テニスコーツ

お問い合わせ

*本作についてのお問い合わせ等は下記までご連絡ください。

株式会社precog (プリコグ) 【平日10:00~19:00】 担当:佐藤瞳、平岡久美 MAIL:info@precog-jp.net TEL:03-6825-1223 FAX:03-6421-2744

WEB: https://precog-jp.net/online/ichthys/

概要

森美術館「アナザーエナジー展:挑戦しつづける力―世界の女性アーティスト16人」関連プログラム
「Meet the Artists」山本高之「イクトゥス」パフォーマンス収録 YouTubeライブ公開

日程:2021年8月15日(日)15:00 開始

配信:THEATRE for ALL 「シアターフォーオール」 YouTube ライブ

https://youtu.be/jmE3ATI-9Ho

言語:日本語 ※アーカイブの予定はありません。

作品概要

古代ギリシア・ローマ時代の「神話」や、『古事記』などの日本の古典文学では、**私たち人間の「性」の描かれ方は多様**であった一方で、**生まれてきたときの「性」を死ぬまで生きることが当たり前**とされる時代が長く続いてきました。私たちは、日常のさまざまな場面で、「女らしさ」や「男らしさ」という社会規範に沿って生きることが求められ、現在もなお、そのような従来の価値観が根強く残っています。

人間の世界とは異なり、魚をはじめとした水中生物の世界では、成長する過程や環境にあわせて性別が変化したり、生き延びるために自ら変化させたり、人間とはまったく異なった性のあり方を見ることができます。同じ種類の魚の群れのなかで体の大きさで性別を決めたり、1日に20回も性転換したりする魚も存在します。

今年6月から約2カ月にわたって開催したワークショップでは、**魚に詳しい先生の話をZOOMで聞いたり、子どもたち自ら歌詞づくりに参加して歌の練習をしたり、登場する魚の衣装を作成したり**、たくさんの活動をおこないました。そしていよいよ、準備してきた成果を**不思議な魚の世界のミュージカル**としてお披露目します。

【これまでのワークショップ活動内容】

第1回 6月5日(土) 14:00~17:00

参加者、ミュージシャンとの顔合わせ。その後、魚の先生の話をみんなで聞き、ミュージカル本番の歌詞を考えます。

第2回 7月10日(土)10:00~12:30

ミュージシャンが作曲した曲にあわせて歌詞を完成させます。

第3回 7月17日(土) 10:00~15:00

ミュージカル本番のためのお面をつくり、衣装について考えます。

第4回 7月24日(土) 10:00~15:00

ミュージカル本番のための大道具・小道具をつくります。

第5回 7月31日(土) 10:00~15:00

歌の練習、ミュージカル全体の動きを確認します。

第6回 8月7日(土) 10:00~15:00

歌の練習、舞台での動きを最終確認します。

第7回 8月14日(土) 14:00~17:00(予定)

リハーサル・ゲネプロ

第8回 8月15日(日)15:00~

ミュージカル本番



【今後の予定】

ミュージカルとこれまでのワークショップの様子は、後日映像作品として公開します。

トレーラー映像:9月上旬公開 / パフォーマンス映像・ドキュメンタリー映像:10月下旬公開

森美術館「Meet the Artists」とは

森美術館が展開する新しいラーニングプログラム。森美術館は開館以来、未就学児から小中学生を対象にした展覧会鑑賞を目的とした学校プログラムやアーティストと協働したワークショップなどをさまざまな世代の方を対象に継続して実施してきました。2020年5月からはオンライン・プログラム「MAMデジタル」のなかで「ラーニングONLINE」を開始しましたが、本プログラムはそのなかの新シリーズとして、長期的なプログラムを展開いたします。「Meet the Artists」では、毎回、アーティストやキュレーターとオンラインで出会い、自分たちの言葉で直接語り合うことができます。美術館空間でのアート作品とのリアルな体験と並行し、オンラインで出会えるアート体験を充実させていきます。現実の空間で充分に体感できない分、一緒に想像力で世界を広げていきましょう。 https://www.mori.art.museum

アーティスト・プロフィール



@加藤 甫

山本高之

1974年愛知県生まれ。子どもの会話や遊びに潜在する創造的な感性を通じて、普段は意識することのない制度や慣習の特殊性や個人と社会の関係性を描き出してきた。近年は地域コミュニティと協働して実施するプロジェクトや、一般を対象としたオルタナティヴなアートスクール・プログラムにも取り組んでいる。山本は愛知教育大学大学院を修了後に渡英し、ロンドン大学チェルシー・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザインを修了。これまでに第6回シャルジャ・ビエンナーレ(2003)、「笑い展:現代アートに見る『おかしみ』の事情」(森美術館、2007)、あいちトリエンナーレ2010、「アジアの亡霊」(アジア美術館、サンフランシスコ、2012年)、「ゴー・ビトゥイーンズ展:こどもを通して見る世界」(森美術館ほか、2014-2015)、第3回コチ=ムジリス・ビエンナーレ(2016)などに参加。2017年にはアートラボあいちにて個展「山本高之 Children of men」を開催。「山本高之とアーツ前橋のビヨンド20XX展 未来を考えるための教室」(アーツ前橋、2019)。森美術館ラーニングでは、「笑い展」(2007)関連プログラムとしてワークショップ「スプーン曲げを教える」、「イ・ブル展」(2012)での関連企画ワークショップ「チルドレン・プライド4.28 in 六本木ヒルズ」、「ゴー・ビトゥイーンズ展」(2014)展示作品のためのワークショップ「どんな地獄へ行くのかな」などを実施している。

ミュージシャン・プロフィール

額田大志 1992年東京都出身。作曲家、演出家。8人組バンド『東京塩麹』、カンパニー『ヌトミック』を主宰。日常の中で見過ごされている音や言葉をパフォーマンスに落とし込むことを大切にしている。個人の活動として、Q/市原佐都子『バッコスの信女 — ホルスタインの雌』などの舞台音楽、JR東海『そうだ 京都、行こう。』などの広告音楽も数多く手掛ける。 ©comuramai / takaramahaya

あっこゴリラ ドラマーとしてメジャーデビューを果たし、バンド解散後ラッパーとしてゼロから下積みを重ねる。 2019年よりJ-WAVE『SONAR MUSIC』でメインナビゲーターを務め、また立教大学でのジェンダー講義や、アフリカ大陸マラウイで村人を巻き込んだストリートライヴなど、性別・国籍・年齢・業界の壁を超えた唯一無二の表現活動を行う。

テニスコーツ さや(歌、鍵盤)と植野隆司(ギター)の二人で、日本を拠点とし、海外でも活動を行う。 シンプルなアコースティックでの演奏を軸に、人や場所との出会いを反映した多様なポップソングへと昇華。 1995年、レーベルmajikickを発足し、以後多くのミュージシャンのアルバムをリリース。2020年、インディ ミュージックのストリーミングサイトminna kikeruを立ち上げ、運営にあたる。 Photo: Peter Kammermeier



クレジット

アーティスト:山本高之 出演:子どもたち

音楽:額田大志、あっこゴリラ、テニスコーツ

ビジュアルデザイン:濱祐斗 ドキュメント映像監督:田中隼

映像撮影:荒井英明、板倉大樹、高坂勝、西久保将夫

レクチャー講師:神田真司(東京大学大気海洋研究所 准教授)、飯田敦夫(名古屋大学大学院生命農学研究科 助教)

企画:田中みゆき

アーティスト・アシスタント: 菊地みぎわ

制作補助:今井亜美、工藤森人、倉田眞希、近藤康弘、佐藤卓也、西沢瑶、三輪和誠、柳本紀子

舞台監督:河内崇音響:井口寬 照明:木藤歩

制作:藤井さゆり(ベンチ)

ライブ映像配信・トレーラー映像監督:太田信吾

ライブ配信ナビゲーター: 青柳いづみ

ライブ配信撮影: 末松祐紀

記録写真:田山達之

森美術館

アソシエイト・ラーニング・キュレーター:白木栄世

ラーニング・リーダー:高島純佳 ラーニング・リーダー:岡田真澄

プログラム・コーディネーター:横山佳世子 プログラム・コーディネーター: 廣田真理子

アシスタント:池田佳穂

株式会社precog

プロデューサー:中村茜

制作デスクチーフ: 黄木多美子、平岡久美

制作デスク:佐藤瞳、田澤瑞季

バリアフリーコーディネート:兵藤茉衣

バリアフリー制作: 谷津有佳

ライブ配信制作:水野恵美、小野寺研斗 チーフ・アドミニストレーター:森田結香

SNS広報:宮崎淳子

主催:株式会社precog、森美術館

企画:株式会社precog、森美術館ラーニング 企画協力:日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

助成 :日本財団、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

協力:ゲーテ・インスティトゥート東京











